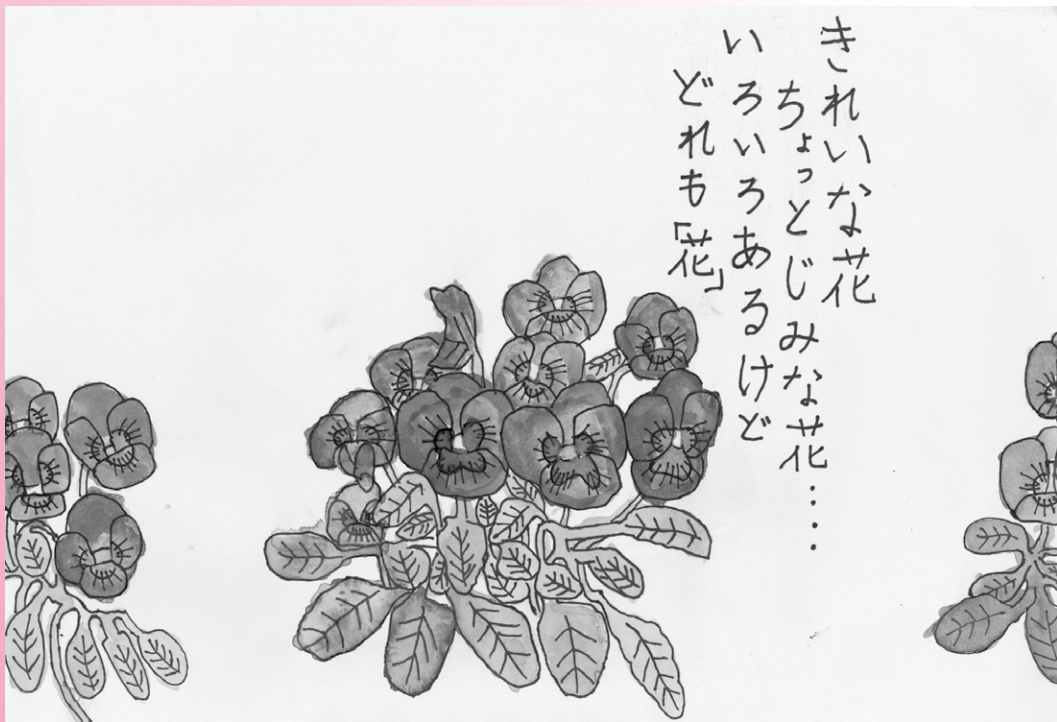


小学校中学年

花の絵



笠間小学校 4年 太田 一真

みんなでジャンプ

内容項目

2-(3) 友だちと互いに理解し、信頼し、助け合う。

自殺予防との関連

この時期の児童は、仲間意識が強くなり気の合うグループで活動することが多くなる。集団に入れない場合には、学校生活にも不具合が生じ不登校などの問題も発生する。孤立やいじめが自殺の原因となる場合もあり、健全な仲間集団の形成は大変重要である。

この資料では、相手を理解し助け合うことで成就感を味わう主人公たちの気持ちに触れることを通し、自他の存在や生命を大切にする心情を育成したい。

板書の例

挿絵① 山田君の参加でうまいくいなくなっている様子。

挿絵② 公園で練習する山田君を陰で見入る3人。

挿絵③ 大きな夕日

本時のねらい

お互いに理解し合い、助け合ってよりよい仲間集団を形成しようという気持ちを育てる。

展開の例

時間	主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問	教師の働きかけ 評 評価
5分	1 みんなで力をあわせている場面の写真を見て話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・価値への方向づけをする。 ・クラスで力を合わせて活動している写真を提示する。
20分	2 資料「みんなでジャンプ」を読んで話し合う。 ○山田君の参加でうまくいかなかった時、みんなはどんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・山田君のせいだ。 ・参加しなければいいのに。 ・これでは勝てない。あきらめよう。 ・もっと練習しよう。 ・がんばろう。 ○山田君はどんな気持ちで練習していたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員としてがんばりたい。 ・練習すればできるはずだ。 ・みんなの足手まといになりたくない。 ◎3人が何も言えずにその場を離れた時の気持ちを考えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・山田君が本気で出たがっているのがわかった。 ・山田君が出なければいいと思ったことが恥ずかしい。 ・自分のことしか考えていなかった。 ・協力したい。 ・みんなでがんばりたい。 ○みんなは夕日に向かってなんと叫んだでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年1組、サイコー。 ・32人、全員参加。一致団結。 ・友だちってすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その場面の振り返りを通して価値への方向づけをする。 ・場面の様子を挿絵で示すことにより、登場人物の心情に迫りやすくする。 ・転校生であることや足の不自由であることへの遠慮がありながらも、山田君のせいだと思ってしまうみんなの気持ちを素直に表現させるため、受容的に聞く。 ・補助発問として、山田君が個人で練習している理由や、泥だらけになっても練習を続ける意味を問う。 ・山田君のお母さんの気持ちを補助的に問う。 ・直前の会話を確かめて、3人の気持ちの変化を明確にする。 ・山田君の気持ちと比べることで3人の気持ちをより明確にする。 ・ワークシートに書くことで思いを整理させるため、時間を十分にとる。 ・登場人物と同様の高揚感を味わわせるために自由発表とする。
10分	3 友達や学級を振り返る。 (1) 友達や自分の学級のよいところを考える。 (2) これからみんなでがんばっていきたいことをカードに書く。 (3) 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を振り返るための時間を十分に確保する。 ・お互いを理解し合い、助け合って達成したいことを書いたカードを数名分紹介する。 ・カードを教室に掲示することで、価値への到達を促したい。 評 自他を理解し合い、助け合っていこうという気持ちを持ち、表現している。 (発表、カード)
5分	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身の経験を話したい。

みんなでジャンプ

ぼくたち3年1組は、今年の運動会で、「大なわとび」の優勝と新記録のダブル受賞をねらっている。クラス全員が3分間でいっせいにとべる回数を競う。みんなやる気になっていて、夏休みから練習した。はじめは息があわず、なかなかとべなかったけれど、夏休みが終わるころにはいいところまでいけた。この調子なら、本番のダブル受賞はまちがいない。

2学期になって転校生がやってきた。山田君という子だ。明るくて元気で、関西弁のおもしろい子。あっという間に仲良くなった。ところが…、山田君は足が悪かったんだ。赤ちゃんのころの病気のせいで、今でも片方の足がうまく上がらない。そんなこと、本当は関係ないんだけど、僕らにはダブル受賞という大きな目標が…。「へえ、おもしろいなあ。みんな、なかなかうまいなあ。」山田君は、当然のように大なわとびに加わった。…でも、やっぱりだめだった。山田君が入ったとたん、連続で3回か4回、うまく行って6回とぶのが限界だった。そのうちにあきらめムードがただよい、いつの間にか練習もしなくなっていた。

山田君が学校を休んだ。僕とマモルとカオルの3人は、先生からたのまれてプリントをとどけに、山田君の家によることになった。

「なあ、みんなでジャンプ、どうする？」

「山田君は足が悪いんだから、応援係になってもらおうよ。」

「全員参加が3年1組のモットーだろう。」

「なわ回しをやってもらえば？」

「足が悪いんだからよけいだめだよ。ふんばれないよ。」

「山田君、運動会、欠席しないかなあ。」

「……」

山田君の家の近くの公園まで来たときだった。

「もうやめとき。あんたにはやっぱむりや。」

「なにゆうてんねん。練習すればなんとかなるさかい…。お母ちゃん、3年1組はな、全員参加・一致団結がモットーなんや。かっこええやろ。」

「…そうやなあ、あんたも3年1組の一員なんやな。よっしゃ、練習しよか。」

山田君とお母さんは、どろだらけになって縄跳びの練習をしていた。僕らは何も言えず、その場を離れた。

次の日から、練習再開、特訓が始まった。作戦を何度もねり直した。山田君をはさんで、マモルとカオルが立つ。しっかりと肩を組んでとぶ。失敗すると、山田君が声をかける。「あきまへんな。」「なんとかなりまっか?」「ほな、がんばりまっせ!」その言葉でみんなが笑う。僕らは日が傾くまで練習した。毎日、毎日…。

運動会の当日「みんなでジャンプ」の優勝は3組。われらが3年1組の順位はビリ、記録は27回だった。けど僕らは「全員参加・一致団結」のモットーをかかげてやりぬいたんだ。クラスみんなが満足だった。27回の記録は僕らの輝ける勲章だ。山田君を入れて32名。僕らは本当の仲間になった。

でっかい夕焼けがすごくきれいで、なんだか叫びたい気持ちになった。

「みんなでジャンプ」

3年()組()番 名前()

◎ 3人はどんな気持ちでその場を離れたのでしょうか。

Handwriting practice area for the first question, featuring a decorative border and three horizontal dashed lines.

☆ ()のいいところはどんなところですか。

Handwriting practice area for the second question, featuring a decorative border and three horizontal dashed lines.

☆ みんなでがんばっていきたいことは何ですか。

Handwriting practice area for the third question, featuring a decorative border and five horizontal dashed lines.

あたたかい言葉かけ

指導にあたって

1 題材設定の理由

自分の言葉が相手に与える影響を考え、日常生活の中で「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」などの言葉かけをするのは、大切なことである。相手と信頼し合い、悩みを相談し合えるような好ましい人間関係を築けるようにしたいと考え、このあたたかい言葉かけのソーシャルスキルトレーニングの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①この授業はソーシャルスキルトレーニングである。目的や学習上の約束を児童に説明をしておくことで授業にスムーズに入ることができる。(p30.参考資料参照)

(2) 事後指導

①チャレンジカードを用いて日常生活でスキルを実践し、帰りの会などで、振り返る時間をもつ。スキルを使うことができた児童を称賛し、フィードバックしていくことで定着化を図る。

②授業で使った「あたたかい言葉かけのポイント」は教室に掲示し、常に児童の目に入るようにして意識づけを図るとよい。


3 参考文献

「実践！ソーシャルスキル教育小学校編」（佐藤正二・相川充編）（図書文化社）


板書の例

あたたかい言葉をかけよう

あたたかい言葉＝「ありがとう」「よくできたね」
「大丈夫？」「がんばったね」
「すごいね」「がんばれ」



- 困っている
- 恥ずかしい
- 痛い




(子どもの意見)

やくそく ・ふざけない ・はずかしがらない
・からかわない



あたたかい言葉かけのポイント

- ①相手をよく見て
- ②近づいて
- ③聞こえる声で
- ④いい顔で



(子どもの意見)

展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 評 価
5分	1 あたたかい言葉について知る。 ・親切な言葉, 慰めの言葉, 感謝の言葉, ほめ言葉など 2 本時の学習課題を確認する。	・友達と話していて嬉しい気持ちになるのはどんな言葉を言ってくれた時か考えさせる。 ・あたたかい言葉について説明する。
あたたかい言葉をかけよう		
15分	3 A子が転んで泣いている問題場面について, A子の気持ちとどのようなあたたかい言葉をかけるとよいかを考える。  ・A子の気持ち…困っている, 恥ずかしい, 痛い など ・言葉かけ…大丈夫? 保健室へ行く? 痛くないよ など 4 あたたかい言葉かけのポイントを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> あたたかい言葉かけのポイント ①相手をよく見て ②近づいて ③聞こえる声で ④いい顔で </div> 5 あたたかい言葉をかけられた相手の気持ちを考える。 ・嬉しい, その人が好きになる, 勇気が出る, 気持ちが楽になるなど	・児童にできるだけ意見を出させ, 様々なあたたかい言葉があることに気づかせる。 ・教師がロールプレイングを行い視覚的に教示することでよいモデルを示す。 ・A子役は児童にさせる。 ・左記のポイントは必ず声に出して伝えるようにする。 ・あたたかい言葉をかける時には, 表情やしぐさなどの非言語的表現も大切であることを理解させるようにする。 ・A子役の児童にも言葉をかけられた時の気持ちを聞く。
20分	6 あたたかい言葉をかけあう練習をする。 (1) 学習上の約束をする。 ・ふざけない ・恥ずかしがらない ・(人のロールプレイングを) 笑わない (2) 提示された場面での練習を行う。 「清掃中にバケツの水をひっくり返してしまった友達」の場面  (3) 代表で何組か前で演じる。	・学習上の約束は強調し, 意識させる。 ・隣の人とペアになって, あたたかい言葉をかける練習をさせる。役は順番に交代する。 ・よくできているペアを称賛して, 雰囲気高めめる。 ・代表数組にロールプレイングをさせる。バケツなど小道具を用意して行わせ, 見やすいように配慮する。言葉かけの上手なところを皆で称賛する。
5分	7 学習のまとめをする。 ふりかえりカードを記入して, 授業で感じたことを発表し合う。	評 あたたかい言葉のかけ方を理解し, 今後の生活の中で実践しようとしている。 (観察・ワークシート)

あたたかい言葉かけ

ふりがえりカード

年 組 名前 _____

1 あたたかい言葉かけはできましたか？下の表に◎、○、△を書きましょう。

あたたかい言葉かけのポイント	◎ ○ △
1 相手の目をきちんと見て	
2 近づいて	
3 聞こえる声で	
4 いい顔で	

2 あたたかい言葉のかけ方は、どうすればよいか分かりましたか？
あてはまるところに○をつけましょう。

よく分かった	だいたい分かった	あまり分らなかった	分からなかった
--------	----------	-----------	---------

3 これからの生活で、「あたたかい言葉かけ」ができそうだと思いますか？
あてはまるところに○をつけましょう。

できる	たぶんできる	たぶんできない	できない
-----	--------	---------	------

4 今日のじゅぎょうで感じたこと・考えたことを書きましょう。



掲示資料

*学級の実態に応じて場面を工夫する。



参考資料

▶「ソーシャルスキルトレーニング（SST）について」

良好な対人関係を営むための知識と技術のことを「ソーシャルスキル(以下SS)」と言います。適切なSSをもっている子どもは、友達や同級生と上手につき合うことができます。一方、対人関係に困難さを感じている子どもは、適切なSSを学んでこなかったか、不適切なSSを学習してしまったと考えられます。実際、SSの不足は学校不適応やいじめ、不登校、さらには学業成績などとも関連していると指摘されています。

SSは学習し、身に付けることができます。ソーシャルスキルトレーニングは、以下のように学習を進めます。

- ①インストラクション…教えようとするスキルの重要性に気付かせながら、言葉でスキルを教える。
- ②モデリング…スキルの良い手本を見せて真似させる。
- ③リハーサル…スキルを子どもの頭の中や実際の行動で何回も練習させる。
- ④フィードバック…やってみたことを褒めたり、修正したりして、子どもの実践意欲を高める。
- ⑤般化(定着化)…練習したスキルを日常生活で使えるように促す。継続させる。

例えば、友達の遊びに加えてもらうにはどうすればよいのか、仲直りするには何と言えばよいのか、初対面の人に会う時にはどう接すればよいかなど、適切な対人行動についての基本的な知識を教えます。また、人間関係に関する一定のルールやマナーについても教える必要があります。あわせて対人目標の重要性(例えば相手を言い負かすことと、相手との友好関係を続けることと、どちらがその場の対人目標として重要なのか)などについて学習します。

小学校でSSTを行う時は「人間関係がうまくいくための学習」「友達ともっと仲良くなるための技術を練習する」「社会のルールやマナーについて学ぶ授業」など、授業の目的をきちんと説明し、ロールプレイングなどを笑わずしっかりとやることが大切です。また、学習後、日常生活で継続してスキルを使う場を意図的に設定し、定着化を図ります。

▶事後指導資料の例
～チャレンジカード～

あたたかい言葉かけ

チャレンジカード

楽しく・気持ちよく・まわりの人とつきあうワザをみがこう。

年 組 名 前 _____

あたたかい言葉かけができましたか？
 今日一日をふりかえってみましょう。
 とてもよければ ◎
 まあまあできたら ○
 もう少しがんばらないといけないと思ったら △
 をつけましょう。

あたたかい言葉かけのポイント

- 1 相手の目をきちんと見て。
- 2 近づいて。
- 3 聞こえる声で。
- 4 いい顔で。

	月	日	日	日	日	日	日
1 じゅぎょう中や休み時間、友だちや先生にあたたかい言葉かけができた。							
2 家に帰って、おうちの人や友だちにあたたかい言葉かけができた。							

▶SST授業後のポイント
～スキルを定着化させるために～

学校で教えたスキルが日常生活において定着する(これを専門用語で「般化」と言います)ために、授業後はスキル使用に対する繰り返し・継続の取組が大変重要になります。教えたスキルを機会あるごとに思い出させる、どんな日常場面で使えるか考えさせる、宿題を出して教室以外の対人行動を記録させる、というようなことを行います。

例えば、実行に移しやすいようにチャレンジカードを活用し、朝の会・帰りの会で簡単なスキル指導の時間を設ける、学校行事の時にスキルを意識して使うように励行するなどが考えられます。そして、子どもたちが適切なスキルを使ったときは確実に褒めて認めてあげて、行動を強化します。毎日の実行について、的確な評価を与え賞賛することによって、できるようになった喜びを子どもに味わわせてください。

教室での振り返りばかりでなく、様々な機会を利用してSSの行動化を評価しましょう。授業者の指導だけではなく、学級通信などで家庭の協力を求めたり、他教師と連携して多くの励ましをしたりするなど、たくさんの目を通してSSの定着化を見守るとよいでしょう。

～ 雨 ～ 星野富弘

内容項目

2-(2)相手のことを思いやり、進んで親切にする。

自殺予防との関連

この時期の児童は、相手の気持ちを自分におきかえて、より深く理解し、自らの行動を考えることができるようになってくる。しかし相手の気持ちが理解できても、実際の行動に移せるかと言えば「恥ずかしさ」などが前面にたち、適切に行動できないことも多い。

そこで、この資料を通して、相手の現在の状況や、困っていることなどを想像することを通して、相手のことを思いやり、自ら進んで親切な行為を行おうとする気持ちを育てていきたい。

板書の例

相手のことを考えた親切とは	●	車いすののっている星野さんの 絵や写真	●	女の子の顔の絵	星野さんの 描いた絵	雨 星野 富弘 星野 富弘さん
	●	黙って帰って行った女の子	●	後をつけてきた女の子	資料 星野さんについて	

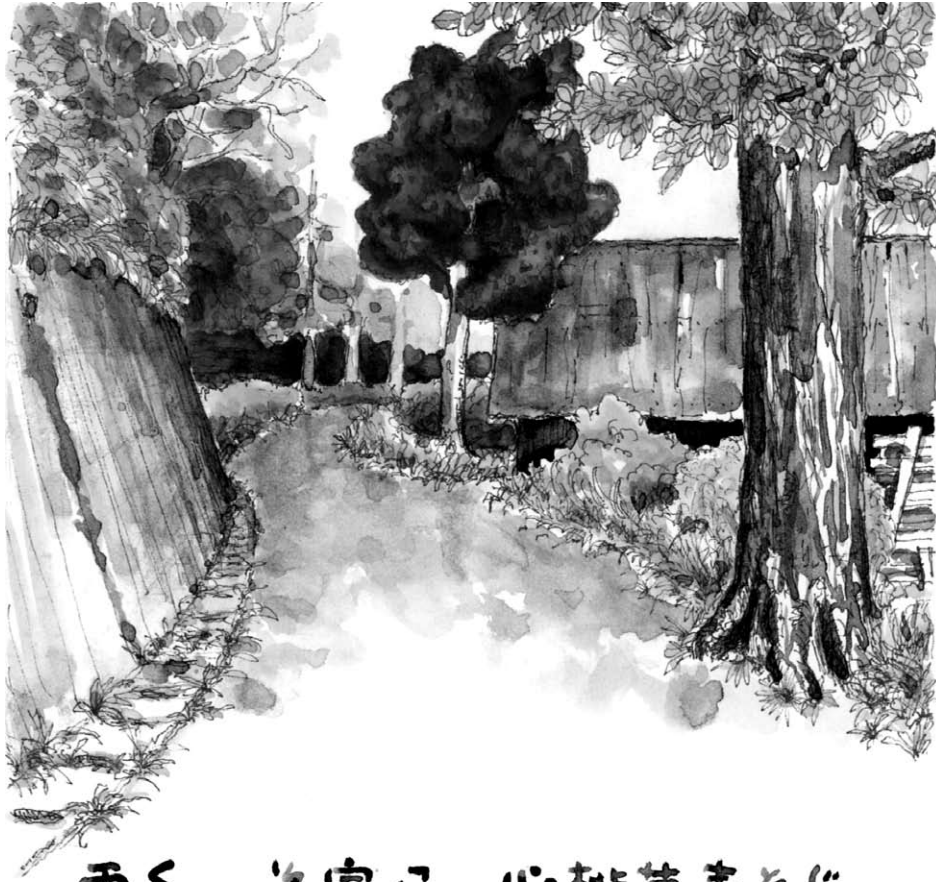
本時のねらい

周囲に対して思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

展開の例

時間	主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問	教師の働きかけ □ 評価
5分	1 作者「星野富弘」について紹介する。 ・きれいな絵だね。 ・口で描いているなんてすごい。	・星野さんの作品や資料の提示を通して、手足が不自由なことや筆を口にくわえて作品を描いていることなどを伝える。 作者の状況について説明し、ねらいとする価値への方向づけを図る。
15分	2 資料「雨」を読んで話し合う。 ○女の子は、どんなことを思いながら黙って星野さんの後についてきたのでしょうか。 ・大丈夫かな。車椅子なのに。 ・何かあったら手伝おう。 ・声をかけようかな。どうしようかな。 ○星野さんは、どんなことを思って「ありがとう」と言ったのでしょうか。 ・心配してくれてありがとう。 ・黙ってそばにいてくれてありがとう。うれしかった。 ◎女の子は、どんなことを思いながら黙って帰って行ったのでしょうか。 ・よかった。無事に家について。 ・迷ったけれど、家まで来てよかった。 ・安心した。	・できれば資料については実物を用意して提示したい。 ・総合的な学習で「福祉体験」や「車椅子体験」を行っている場合は、その時の状況を想起させながら、女の子の行動や気持ちに対して共感させたい。 ・「車椅子で雨に降られた日のこと」という言葉を押さえ状況を確認する。 ・星野さんを思いやる女の子の気持ちは十分に伝わっていることを押さえ、中心発問へとつなげていきたい。 ・星野さんにお礼を言われて「ついてきてよかった」とすがすがしい気持ちになった女の子の気持ちをじっくりと想像させ発表させる。
20分	3 自分を振り返り、相手のことを考えた親切について考える。 ○あなたは、困っている人を見た時、親切にすることがありますか。その時、どんな気持ちになりましたか。 ・迷子になって泣いている子がいたのでお母さんがくるまで一緒に待っていてあげた。一緒に待っていてあげてよかったと思った。 ○あなたは、これからどんな気持ちでまわりの人に親切にしていきますか。 ・相手の立場になって親切にしていきたい。	・発表した児童の行いを称賛する。褒めることを通して、何気ない行動でも、困っている相手にとってはとてもうれしいことだと気づかせたい。 □ 相手のことを思いやりながら親切にしていこうとする気持ちを持ち、表現している。 (ワークシート・発表)
5分	4 教師の説話を聞く。	・思いやりの気持ちをもって親切にした時の体験談を話す。 ・授業後、星野さんの絵や詩集等を教室に掲示し価値への定着を図る。

～雨～ 星野 富弘



じかがいも火の横の道を
 その子は後をつけてきた
 妻畑をすぎ
 草茎場の角をまがって
 桃色のスカート揺ら
 心配そうにうらな
 「ありがとう」
 家のそばで私という
 その子は黙って
 帰って行った
 くるま椅子で
 雨に降られた日のこと

資料 星野 富弘のあゆみ(略年表)

1946年	群馬県勢多郡東村(今のみどり市東町)に生まれる。
1970年	4月 群馬大学を卒業し、中学校の体育の先生になる。 6月 クラブ活動の指導中、誤って首の骨を折る。手足が全く動かなくなる。群馬大学附属病院に入院する。
1972年	口に筆をくわえて花の絵をかき始める。
1979年	4月 あごのレバーで動く電動車いすが完成し、使い始める。 9月 回復しないまま退院し、故郷の自宅に帰る。エッセイなどを作る。
1991年	東村に富弘美術館が完成する。

「～ 雨 ～ 星野 富弘」

4年()組()番 名前()

○ 女の子は、どんなことを思いながら黙って帰って行ったのでしょうか。

Writing area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ あなたは、これからどんな気持ちでまわりの人に親切にしていきますか。

Writing area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

友だちのすてきなところを見つけよう

指導にあたって

1. 題材設定の理由

小学校4年生はギャングエイジと呼ばれ、日常生活や学習、遊びと、元気に学校生活を送る時期である。一方で、同世代であっても特に認めた相手としか友人関係を結ぼうとしない傾向も見られる。閉鎖的な子どもの仲間集団が発生し、付和雷同的な行動が見られ、ケンカやトラブルが頻繁に発生することもある。この時期に自分のよさや友だちのよさに積極的に目を向け、認め合おうとする態度を育てることが自己存在感や自己有用感を育むことにつながると考え、この題材を設定した。

2. 指導の流れ

(1) 事前の指導

- ①生活状況調査、いじめに関する調査、学級集団への所属感に関する調査などを実施し学級の現状を把握しておく。
- ②事前にグループの友だちを1日観察してすてきなところを見つけさせ記録させる。

(2) 事後の指導

- ①友だちにお礼の手紙を書く。
- ②ワークシートを学級掲示し、お互いに確認できるようにさせる。

3. 参考文献

「人と人とを結び思いやる心を育てる授業－確かな人間関係を築く実践プラン44－」(安達昇著編) (小学館)

板書の例

友だちのすてきなところを見つけよう

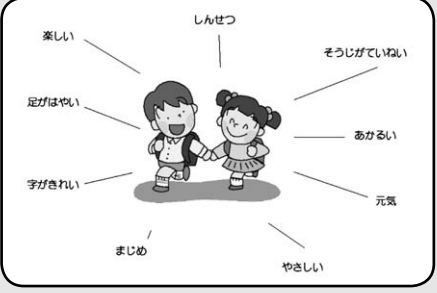
大リーグで活躍している

ヒットをたくさん打つ

イチロー

みんなに夢をあたえる

足が速い



楽しい
足がはやい
字がきれい
まじめ
やさしい

しんせつ
そうじがていねい
あかるい
元気

班の友だちのすてきなところを手紙に書こう

班で発表しよう

みんなに知らせよう

展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 評 価
5分	1 身近な人物のすてきなところを考え発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人物（イチロー、石川遼、AKB48、先生など）を取り上げて、その人物のすてきなところを自由に出させる。 ・今まで学級で互いに協力し、助け合い、支え合って活動してきたことをほめながら、互いに認め合おうとする学習の雰囲気づくりに努める
3分	2 本時の学習課題を確認する。	
友だちのすてきなところを見つけよう		
15分	3 友だちの「すてきなところ」を見つけようの学習に取り組む。 (1)学習の進め方を確認する。 (2)班の友だちのすてきなところを見つけ手紙（ワークシートや付箋を利用する）に書く。 「親切」「楽しい」「足が速い」 「ピアノがうまい」「字がきれい」 「そうじがていねい」など	<ul style="list-style-type: none"> ・すてきなところ探しの視点を例示し、いろいろな角度から友だちのすてきなところを見つけられるようにする。 ・ワークシートは回して使い、友だち1人につき3つのすてきなところをまとめさせる。（学級の実態に応じて、付箋等を利用し個々に記入させることもできる。） ・BGMを流して、各自が穏やかな気持ちで取り組めるようにする。
15分	4 ワークシートに書かれた内容について班内で発表し合う。 ・自分のよさをみつけてもらってうれしかった。 ・こんなところをみてくれていたんだ。 ・よいところを見つけてあげることは、とてもいいことだ。	
	5 ふりかえりカードにまとめる。	
5分	6 教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・あらさがしよりも人のよさを見つけることで、お互いにあたたかい関係になれることを説明し、今後の生活で実践できるよう意欲づけを図る。 <p>評 友だちのよさに気づきお互いのよさを認め合おうとしている。 (ワークシート・ふりかえりカード)</p>

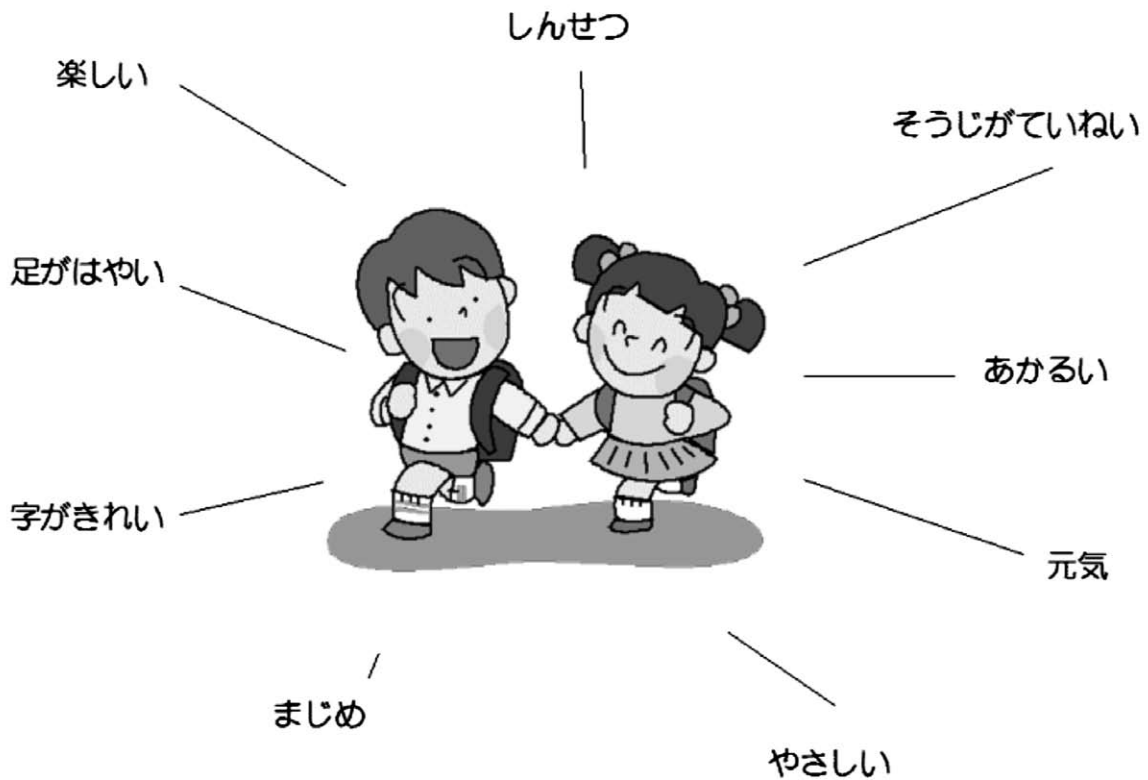
友だちのすてきなところを見つけよう

さんへ

友だちの名前	あなたのすてきなところ
より	
より	
より	

(グループ活動用のワークシート)
 ※学級の実態に応じて、個々に付箋等にかかせて貼り付けることもできる。

すてきなところ探しのポイント



すてきなところ探しのポイント

4年()組()番 名前()

- 1 今日の授業をふりかえっての感想を教えてください。
 (自分の気持ちに一番近いものの数字を○でかこんでください)

	その通り	ややその通り	あまりその通りではない	その通りではない
①今日の授業は楽しかった	4	3	2	1
②友だちのすてきなところを見つけ、それを友だちに伝えることができた	4	3	2	1
③友だちから伝えてもらったことから自分のすてきなところを知ることができた	4	3	2	1
④自分自身を知ることが大切で、これからも考えたいと思った	4	3	2	1

- 2 今日の授業をふりかえって、感じたことや思ったことを自由に書いてください

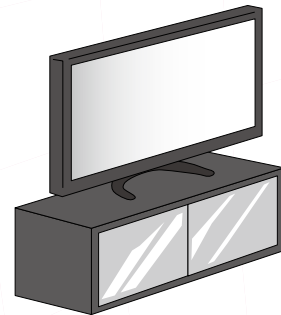
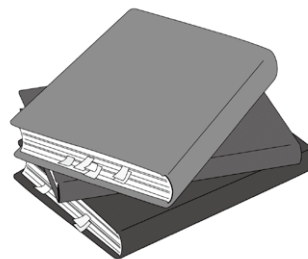
コラム②

群 発 自 殺

ある人物の自殺が引き金となって同じような問題を抱えた人々が次々に自ら命を絶つ現象を「群発自殺」と呼びます。とくに若者は、群発自殺に巻き込まれる危険が高い世代とされています。家族や知人といった強い絆で結ばれていた人の死が精神的な打撃となることはもちろんですが、直接知らなくても有名な歌手や俳優の自殺が繰り返しセンセーショナルに報道されると、自己を自殺者に重ね合わせ、その結果複数の自殺が生じるという事例は古今東西にみられます。古くはゲーテの『若きウェルテルの悩み』（1774年）が出版された直後に、失恋して銃で自殺した主人公と同じ手段で自殺した多くの若者がいたことが伝えられています。日本でも、1986年にアイドル歌手が飛び降り自殺した直後に続出した後追い自殺や、2006年冬から2007年春にかけて起こったいじめ自殺の連鎖などがその典型とされています。

特に高度に情報化された現代社会において、群発自殺が拡大していくうえでマスメディアやインターネットの及ぼす影響にはきわめて大きなものがあります。学校や家庭で子どもたちに情報を使いこなす能力を高める努力を進めるとともに、マスメディアも自殺報道のもたらす危険な側面について配慮し、自殺予防につながるような報道姿勢をもつことが望まれます。

また、他者の死を受け入れていくうえで周囲からの心のサポートが得られた場合とそうでない場合とでは、心理的な打撃に大きな違いがあります。直接的であれ、間接的であれ、精神的に重要なつながりのあった人の死を知って動揺している子どもの中には自殺の危険が高まっている子どもがいる可能性を考え、適切な対応をすることが求められます。



「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より（平成21年3月）文部科学省